

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.5.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量*1	前回報告比 (2017.5.25)	変動*3 理由	エリア 占有率	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	2,800 m ³	0 m ³	—	85%	149500 / 214300 (70%)	・フランジタンク解体片 エリアPにて一時保管中。(2015年6月15日~) 2017年5月末時点で394基(コンテナ)保管。
	C	屋外集積	0.01未満	55,300 m ³	+500 m ³	①②③④	87%		
	F	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%		
	J	屋外集積	0.01	4,300 m ³	0 m ³	—	53%		
	N	屋外集積	0.01	4,500 m ³	0 m ³	—	45%		
	O	屋外集積	0.01未満	31,900 m ³	+300 m ³	②④⑤	62%		
	P	屋外集積	0.01	42,500 m ³	+400 m ³	③	66%		
瓦礫類 シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58%	30000 / 71000 (42%)	・エリアWは、車両解体(プレス等)及びエリア内配置整理により保管 量減。
	E	シート養生	0.02	13,200 m ³	+200 m ³	③	83%		
	P	シート養生	0.01	5,500 m ³	0 m ³	—	62%		
	W	シート養生	0.05	7,400 m ³	-1,600 m ³	④	25%		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%	21000 / 27700 (76%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。
	A	仮設保管設備	0.30	2,400 m ³	+200 m ³	②	34%		
	E	容器*4	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19%		
	F	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%		
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	Q	容器	0.09	5,700 m ³	0 m ³	—	93%	8400 / 12000 (70%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。
	Q	容器	0.02	8,400 m ³	+100 m ³	②⑥	70%		
合計(ガレキ)				208,900 m ³	+1,000 m ³	—	64%		
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	15,400 m ³	+8,300 m ³	①	39%	87800 / 144500 (61%)	・エリアGは、敷地造成工事関連で発生した伐採木(幹・根)の受入に より保管量増。
	I	屋外集積	-	0 m ³	0 m ³	—	0%		
	H	屋外集積	0.01未満	32,900 m ³	0 m ³	—	77%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,500 m ³	微増 m ³	—	88%		
	V	屋外集積	0.01	0 m ³	0 m ³	—	0%		
伐採木 一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	8,500 m ³	0 m ³	—	29%	19600 / 41600 (47%)	
	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%		
合計(伐採木)				107,400 m ³	+8,300 m ³	—	58%		
保護衣 屋外集積	容器	0.03	67,900 m ³	+400 m ³	⑦	95%	67900 / 71200 (95%)	・2017年2月12日~雑固体焼却設備点検停止中 ・使用済保護衣等焼却量 1519t(2017年5月末累積) ・焼却灰のドラム缶数 280本(2017年5月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				67,900 m ³	+400 m ³	—	95%		
仮設 瓦礫類	U(仮設分)	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—			・タンク設置スペース確保に伴い、エリアUより持込み。
仮設 伐採木(枝・葉)	V(仮設分)	屋外集積	0.01	4,300 m ³	0 m ³	—			・伐採木のチップ化処理作業に伴い、エリアVより持込み。
合計(仮設運用エリア)				5,000 m ³	0 m ³	—			

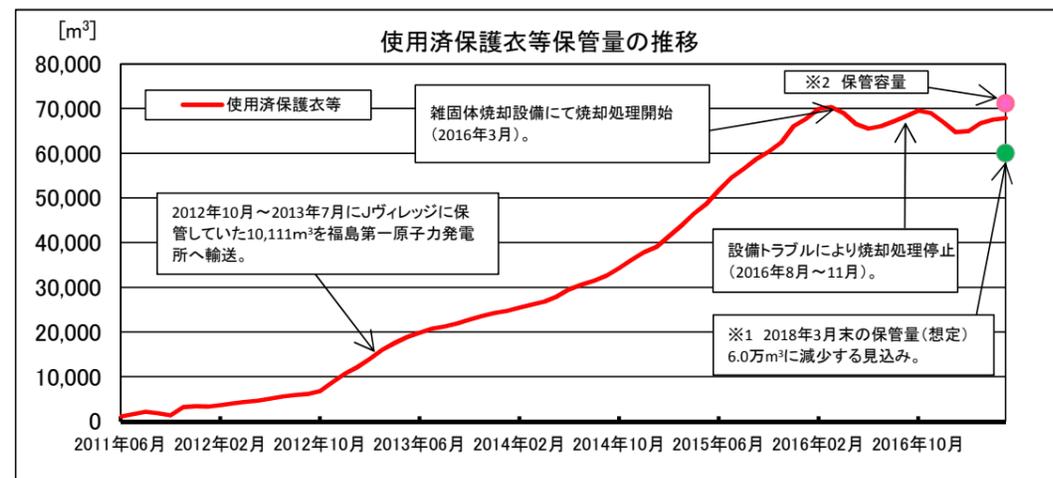
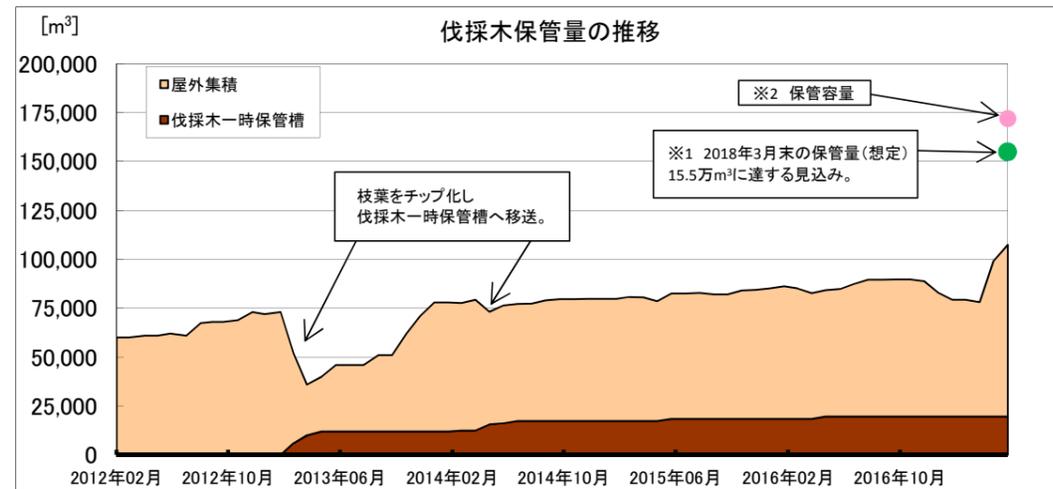
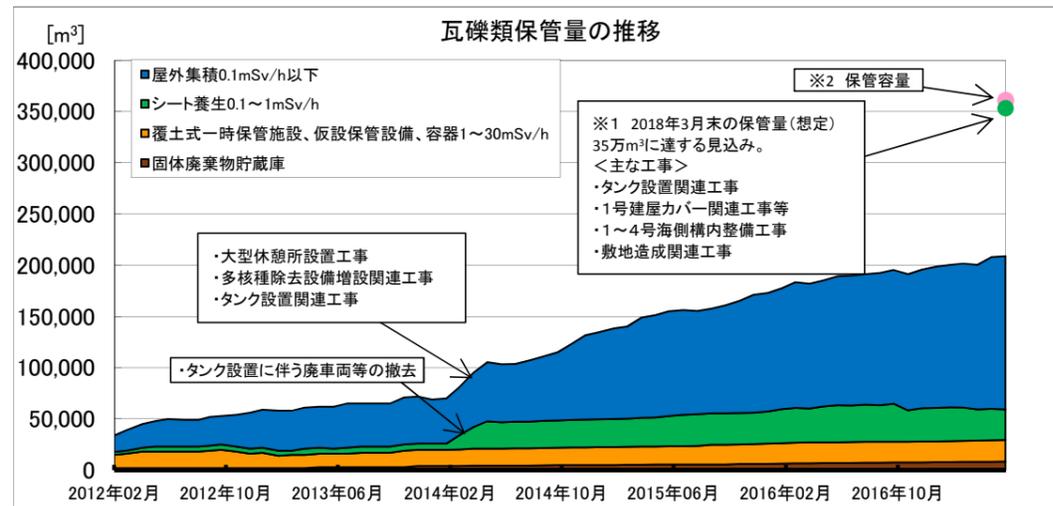
※1 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※2 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※3 主な変動理由：①敷地造成関連工事 ②1~4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③タンク関連設置工事 ④車両解体工事
 ⑤焼却対象物の受入 ⑥水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)の保管 ⑦使用済保護衣等の受入
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。



水処理二次廃棄物の管理状況(2017.6.22時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2017.5.25)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済バケツ	758 本	0 本	3664 / 6368 (58%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)
		第二セシウム吸着装置使用済バケツ	188 本	0 本		
		多核種除去設備等保管容器	1,386 基	+17 基		
		高性能多核種除去設備使用済バケツ	73 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	9 塔	0 塔		
		モバイル式処理装置等使用済バケツ及びフィルタ類	191 本	0 本		
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,367 m ³	-12 m ³	9367 / 10700 (88%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量: 9267 [m] タンク底部~水位計の保管量(DS): 約100[m]	

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.5.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2017年3月1日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、実施計画(2017年3月1日認可)の保管容量の運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2017.6.22時点)

